

(様式第15号)

〇〇市町村長 殿

年 月 日
組織名又は法人名:

氏名(法人の場合は代表者名)

住所

連絡先

環境負荷低減のチェックシート

環境保全型農業直接支払交付金実施要領（平成23年 4 月 1 日付け22生産第10954号生産局長通知）第8の4の（1）のウに基づき以下のとおり、環境負荷低減のチェックシートについて、報告します。

	実施状況	（1）適正な施肥	翌年度 取組計画
1	☐	肥料の適正な保管	☐
2	☐	肥料の使用状況等の記録・保存	☐
3	☐	作物特性やデータに基づく施肥設計 (簡易土壌診断、前作の収量等)	☐
4	☐	有機物の適正な施用による土づくりを検討 (堆肥や有機質肥料、緑肥等の活用等)	☐

	実施状況	（4）悪臭及び害虫の発生防止	翌年度 取組計画
12	☐	悪臭・害虫の発生防止・低減に努める	☐

	実施状況	（5）廃棄物の発生抑制、適正な循環的な利用及び適正な処分	翌年度 取組計画
13	☐	廃棄物の削減や適正な処理（プラスチック等の資材の使用量又は排出量削減 や廃棄の際の処分の適正化）	☐

	実施状況	（2）適正な防除	翌年度 取組計画
5	☐	病害虫・雑草が発生しにくい生産条件の整備 (健全種苗の使用、病害虫の発生源除去等)	☐
6	☐	病害虫・雑草の発生状況を把握した上での防除要否及びタイミングの判断 (発生予察情報の活用による防除等)	☐
7	☐	多様な防除方法（防除資材、使用方法）を活用した防除 (物理防除・生物防除の活用等)	☐
8	☐	農薬の適正な使用・保管	☐
9	☐	農薬の使用状況等の記録・保存	☐

	実施状況	（6）生物多様性への悪影響の防止	翌年度 取組計画
14	☐	病害虫・雑草の発生状況を把握した上での防除要否及びタイミングの判断 (発生予察情報の活用による防除等)（再掲）	☐
15	☐	多様な防除方法（防除資材、使用方法）を活用した防除 (物理防除・生物防除の活用等)（再掲）	☐

	実施状況	（7）環境関係法令の遵守等	翌年度 取組計画
16	☐	みどりの食料システム戦略の理解	☐
17	☐	関係法令の遵守	☐
18	☐	農業機械・装置・車両の適切な整備と管理の実施 (定期メンテナンス、点検記録作成等)	☐
19	☐	正しい知識に基づく農作業安全に配慮した適正な作業環境への改善 (作業方法の改善や危険箇所の表示、保護具の着用、機械・器具の操作方法 確認等)	☐

翌年度、当該事業を取り組まない☐

（注1）農業生産活動の実態に応じて実際に取り組んだ内容について、□欄に✓を記入してください。該当しない場合は、□欄には／（斜線）を記入してください。
（注2）翌年度に取り組む予定の項目について、□欄に✓を記入してください。該当しない場合は、□欄には／（斜線）を記入してください。
（注3）翌年度に当該事業に取り組まない場合は、翌年度取組計画欄に／（斜線）を記入し、「翌年度、当該事業を取り組まない」の□欄に✓を記入してください。

<報告内容の確認と個人情報の取り扱いについて>
・ 本チェックシートにて報告された内容については、農林水産省が対象者を抽出し、実施状況の確認を行います。
・ 記入いただいた個人情報については、本チェックシートの実施状況確認のために農林水産省で使用し、ご本人の同意がなければ第三者に提供することはありません。

確認しました→ ☐